

新潟市教職員の資質向上に関する指標〔養護教諭〕

目指すこどもの姿	目指す人間像	目指す学校園教育
人とかかわることを通し、自ら判断・決定し、夢や目標の実現に向かう姿	しなやかに 世界と未来を創る人	「多様性」を前提とし、全てのこどもたちの「自分らしさ」が発揮され、「可能性を引き出す」教育
	新潟市教育振興基本計画「にいがた学びのコンパス」	

本指標を活用し、これらを実現できる教職員としての資質・能力を高めていく。

新潟市教育委員会(令和8年4月)

	項目	新潟市が求める着任時の姿	第1ステージ		第2ステージ		第3ステージ			
			1 習得期	2 習熟期	3 充実・還元期	3 充実・還元期				
			保健管理や保健教育等の担当業務を中心に、児童生徒と誠実に向き合いながら、業務の基礎・基本と養護教諭としての素養を習得する		養護教諭としての専門性を向上させ、保健管理や保健教育等の担当業務遂行能力を高める		自己の能力や専門性にさらに磨きをかけるとともに、他の養護教諭が各種能力を高め、専門性を向上できるように支援する			
A 実践力	学校保健活動の推進に当てるための方策を計画・実践・評価・改善 養教1 保健管理 養教2 保健教育	心身の健康管理及び学校環境衛生の管理	・学校保健安全法を踏まえ、心身の健康管理及び学校環境衛生の管理について基礎的知識や技能を身に付けている。	1A1	・心身の健康管理及び学校環境衛生の管理を実施し、問題に対して適切に対応する。	2A1	・心身の健康や学校環境衛生に関する情報を総合的に評価し、健康課題解決に向けた組織的な対応をする。	3A1	・心身の健康管理及び学校環境衛生の管理において指導的な立場を果たすとともに、学校運営に参画する。	
		健康相談及び保健指導	・学校保健安全法による健康相談及び保健指導の位置付けを踏まえ、心身の発達段階における健康課題に対応するための方法を理解する。	1A1	・心身の健康問題に気づき、教職員と連携した健康相談・保健指導を実施する。	2A1	・心身の健康問題の早期発見に努め、保健・医療機関・行政などの関係機関や教職員と連携し、解決に向けた健康相談・保健指導を実施する。	3A1	・心身の健康問題の解決に向け、保健・医療機関・行政などの関係機関や教職員をコーディネートし、適応に向けた支援を行う。	
		保健室経営	・養護教諭の職務や保健室の機能を踏まえ、保健室経営計画の立案方法を理解する。	1A1	・健康課題に応じた保健室経営計画を立て、計画的に実施する。	2A1	・学校教育目標、学校保健目標の具現化のための保健室経営計画を立て、組織的に実施する。	3A1	・保健室経営を計画的・組織的に展開し、学校運営に参画する。	
		保健組織活動	・学校保健委員会等の保健組織活動の意義を理解する。 ・学校保健計画の内容や位置づけを理解する。	1A1	・保健主事や関係教職員と連携し、保健組織活動の実施や学校保健計画の立案に参画する。	2A1	・保健組織活動や学校保健計画の立案に当たって、中心的な役割を果たすとともに評価・改善を行う。	3A1	・児童生徒の健康課題解決に向けて、学校・家庭・地域と連携した学校保健活動の体制づくりを推進する。	
			・学習指導要領に基づき、養護教諭の専門性を生かした指導方法を理解する。	1A2	・教職員と連携しながら、養護教諭の専門性を生かして、児童生徒の実態に応じた保健教育を行う。	2A2	・養護教諭の専門性を発揮し、児童生徒の健康課題解決に向けた保健教育を効果的に推進する。	3A2	・自校の教育課程の編成にかかわり、保健教育を組織的に実践・評価する。	
B マネジメント力	児童生徒理解と集団状況の把握に 児童生徒理解と集団状況の把握に 児童生徒理解と集団状況の把握に 児童生徒理解と集団状況の把握に	5 いじめ・不登校への対応⑩⑫	・「生徒指導提要」「新潟市いじめの防止等に関する基本方針」等に基づいて、生徒指導に関する考え方を理解する。	1B5	・一人一人の児童生徒の実態や状況を多面的に理解・把握するとともに、個々の悩みや思いを共感的に受け止める。 ・いじめ・不登校の課題を抱える児童生徒及びその保護者に対して、関係者と連携して適切な支援を行う。	2B5	・一人一人の児童生徒の実態や状況を多面的に理解・把握するとともに、個々の悩みや思いを共感的に受け止める。 ・いじめ・不登校の課題を抱える児童生徒及びその保護者に対して、関係者と連携して適切な支援を行う。	3B5	・一人一人の児童生徒の実態や状況を多面的に理解・把握するとともに、個々の悩みや思いを共感的に受け止める。 ・いじめ・不登校校内対策委員会をコーディネートし、具体的な対応策を講じるとともに、関係機関と連携して迅速に課題解決する。	
		6 キャリア教育視点でのよさや可能性の伸張⑩⑬	・キャリア教育の視点をもつ意義を理解する。	1B6	・キャリア教育の視点を理解し、児童生徒一人一人の特性や心身の状況を捉え、良さや可能性を伝える。	2B6	・学校の教育活動全体の学びと実社会をつなげ、キャリア教育の視点を通して、自分の力で考えて、決めて、頑張ることができたという実感をもたせる。	3B6	・学校の教育活動全体の学びと実社会をつなげ、キャリア教育の視点に基づくカリキュラムを構築し、他の教職員と協働しながらマネジメントする。	
		7 リスクマネジメント⑤	・学校にかかわる様々な危機への対応策を理解する。	1B7	・児童生徒や教職員の生命・心身を脅かす事故・災害・ハラスメント等、様々な場面に対応できる危機管理の知識や視点を備え、管理職に報告し情報を共有しながら対応する。	2B7	・児童生徒や教職員の生命・心身を脅かす事故・災害・ハラスメント等、様々な場面に対応できる危機管理の知識や視点を備え、必要な指導を確実に行う。	3B7	・児童生徒や教職員の生命・心身を脅かす事故・災害・ハラスメント等、様々な場面に対応できる危機管理の知識や視点を備え、全校的な視野に立ち、他の教職員に指導・助言する。	
		8 コーディネート④	・学校三師、社会教育施設、保健・医療機関の役割や仕事内容を理解する。	1B8	・学校三師、社会教育施設、保健・医療機関、地域教育コーディネーターの役割や仕事内容を理解する。	2B8	・学校三師、社会教育施設、保健・医療機関、地域教育コーディネーターからの情報を基に、健康課題解決のための連携・協働の方法を考え、実践する。	3B8	・学校教育ビジョン達成のために、学校三師、社会教育施設、保健・医療機関、他の教職員等と連携・協働して取り組む。 ・有効な連携・協働の方法について、他の教職員に指導・助言する。	
C 人間力	教員としての資質・能力 教員としての資質・能力 教員としての資質・能力 教員としての資質・能力 教員としての資質・能力	9 使命感・熱意①③	・絶えず研究と修養に励み、学んだことを生かす意欲とやり遂げようとする意志がある。	C9	・新しい時代における教育を意識し、自らの力量向上を目指して研究と修養に励み、組織の中で自らの役割を果たそうとする。 ・職務や役割を十分自覚し、責任を回避せずに最後までやり遂げる。					
		10 社会認識・コンプライアンス①②	・教職に必要な倫理観をもち、法令や条例を理解し、社会的な常識や社会人としての望ましい習慣を身に付ける。	C10	・学校及び教職の意義や社会的な役割・服務等を理解し、法令や「新潟市における法令遵守の推進等に関する条例」を遵守する。 ・教育公務員として、社会的な常識を踏まえ、高い倫理観と責任感をともなった行動をとる。					
		11 コミュニケーション②	・多様な他者積極的に接し、良好な人間関係をつくる。	C11	・児童生徒、同僚職員、保護者、地域の人等の声に傾聴し、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションをとり、良好な人間関係をつくる。					
		12 セルフマネジメント③	・自己の特性を理解し、その時々でモチベーションを維持して活動に取り組む。	C13	・自己の特性を把握し、業務の結果を常にモニタリングしながら目標達成に向けてモチベーションを維持して仕事に取り組む。 ・節度ある生活を心掛け、悩みや不安を一人で抱えこまずに管理職や教職員に相談するなどして、心身の健康を維持する。					
		13 創造性	・創意工夫をして業務を遂行する。	C13	・最新の教育的動向を把握し、学校運営の持続的な改善を支えられるように創意工夫をして業務を遂行する。 ・既成概念にとらわれず、多様な視点で発想できる創造的思考を持ち、新しい発想で改善や提案を行う。					
ABC共通項目	14 特別な配慮や支援等の対応⑮	・児童生徒の多様な特性を理解し、協働的に支援を工夫・実践しようとする姿勢をもつ。	1ABC14	・UDの視点を基に一人一人の特性に応じた支援の工夫と基礎的環境整備を授業や保健室経営に取り入れる。 ・「個別的教育支援計画」の作成に参画し、支援に必要な情報を整理し、合理的配慮を行う。	2ABC14	・一人一人の学びと生活を支える支援の工夫を、授業や保健室経営に継続的に取り入れる。 ・「個別的教育支援計画」を基に、関係者と協働し、支援の質を高める合理的配慮を行う。	3ABC14	・これまで行った合理的配慮や支援の実践を基に、校内や研修会等で共有・発信する取組を行う。 ・校内の支援体制の充実に向けて、他の教職員への助言や支援を行う。		
ABC共通項目	15 情報活用⑯⑰	・ICT機器の基本的な操作方法、情報モラルについて理解する。	ABC15	・学校におけるICT活用の意義を理解し、AIを含めたICTや教育データを適切・安全・効果的に活用し業務改善を図る。						